

日本海にぎわい・交流海道ネットワーク

会員挨拶



珠洲市長 泉谷 満寿裕

珠洲市長の泉谷でございます。

珠洲市は何と申しましても能登半島の一番先端にございますので、三方を海に囲まれておりますし、海岸線も実に64キロメートルと非常に長うございます。

昔は海上交通で栄えたわけでございます。珠洲市のこの津々浦々の祭りを見ておりましても、そのキリコや山車のその見事さ、そういったものからしましても昔の豊かさというものをを感じるわけでもございます。

北海道に江差町というところがあるんですけども、その江差町なんかでは、町民の約4割の方が珠洲市を中心に奥能登の出身の方を先祖に持つと、そういったこともございます。

珠洲市には飯田港がございます。現在、東側の防波堤を整備しておるところでございますけれども、私が言うのも何ですが、この飯田港、非常に立派な港でございます。しかし、なかなか十分に活用をされているとは言えないということもございます。これからの時代、物流に限らず観光におきましても、もっと海上交通が見直されてもよいのではないかとということも常々思っております。CO2の削減といったこともございますし、そしてまた、以前のようにとにかく速ければいいという時代でもないと思います。もっとのんびり、ゆったりしたそんな旅を楽しみたい、そんな方々がふえておるんじゃないかというふうに思います。

先ほど輪島市の梶市長さんが、来年には豪華客船がという話をなさっていらっしゃいまして、私もうらやましいなというふうに思いますが、本日は国土交通省の山縣参事官もお見えでございますけれども、輪島に寄港した豪華客船が飯田の港にも入っていただくためにはあと三、四メートル掘り下げんといかんかなといったところもございます。もっと小型のクルーザーとか、あるいはレジャー、遊びといったことに関しましてももっともっと港の活用の仕方があるんじゃないかということを考えておりますので、ぜひとも今後ともご支援、ご指導を願いたいと思っております。

そしてまた、きょうの講演会、そしてパネルディスカッションともにクルーズ、クルージングとい

ったことでもございますので、本日のこの会が実り多い会となりますことを、心よりご祈念を申し上げます。私の報告とごあいさつとさせていただきますと思います。

どうもありがとうございます。よろしくお願いたします。